

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

## PTX weekly + Bevacizumab 療法

3週毎 コース予定疾患名 卵巣癌

主治医

指導医

HBs抗原( )、HBs抗体( )、HBc抗体( )、HCV抗体( )

## スケジュール

		day1	day8	day15
ベバシズマブ	15 mg/kg	↓		
パクリタキセル	80 mg/m <sup>2</sup>	↓	↓	↓

【注意】 \*ベバシズマブの点滴時間は初回投与時 90 分かけて点滴静注、2 回目の投与は 60 分間で行って良い。それ以降は忍容性が良好であれば、30 分間投与でも良い。

\*ベバシズマブ併用化学療法終了後、ベバシズマブ単独投与を継続すること

\*パクリタキセルはインラインフィルター(0.2または0.22 μm)を使用し、DEHPフリー点滴セットを使用すること。

\*アルコール過敏 有・無

\*パクリタキセル投与開始後 1 時間は血圧、心電図モニターにて監視すること。

## 通常量より減量する際の理由

## (レジメン)

## day 1

- |           |                               |                      |
|-----------|-------------------------------|----------------------|
| ①         | 生食 500 mLで血管確保                | 維持(20 mL/時間)         |
| ②         | ベバシズマブ + 生食 適量(全量 100 mL)     | 点滴静注 90~30 分         |
| ③         | レスタミン (10 mg) 5 錠             | 内服                   |
| ④         | ファモチジン 20 mg + デキサメタゾン 6.6 mg | 側管静注                 |
| ☆ 30 分後より |                               |                      |
| ⑤         | パクリタキセル + 5%ブドウ糖 250 mL       | 点滴静注 60 分(250 mL/時間) |

## ◎終了後、メインの生食でルート内フラッシュ

day 8, 15

- ① 生食 500 mLで血管確保 維持(20 mL/時間)
  - ② レスタミン (10 mg) 5 錠 内服
  - ③ ファモチジン 20 mg + デキサメタゾン 6.6 mg 側管静注
- ☆ 30 分後より
- ④ パクリタキセル + 5%ブドウ糖 250 mL 点滴静注 60 分(250 mL/時間)

◎終了後、メインの生食でルート内フラッシュ

	コース			コース		
	day1	day8	day15	day1	day8	day15
月日	/	/	/	/	/	/
ベバシズマブ 開始時刻	↓			↓		
パクリタキセル 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
確認						

	コース			コース		
	day1	day8	day15	day1	day8	day15
月日	/	/	/	/	/	/
ベバシズマブ 開始時刻	↓			↓		
パクリタキセル 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
確認						